

米作りの大変さ 実際に学ぶぞ 野々市のこども食堂利用者ら

2026年4月30日 05時05分 (4月30日 11時29分更新)



泥だらけになりながら田植えをする子どもたち＝白山市竹松町で

「野々市こども食堂みかづき」（野々市市）を利用する子どもと保護者約40人が29日、白山市竹松町の田んぼで田植えを体験した。

米の生産が盛んな地元について学んでもらおうと実施した。子どもたちは、続々とはだしで田んぼに入り、泥の感触に大はしゃぎ。手足を泥だらけにしながら、笑顔で苗を植えていた。

野々市市御園小3年の松村理功（りく）さん（8）は「米を作ることの大切さ、大変さが分かった。田んぼの泥は気持ち良くて、楽しかった」と話した。

田植えの後には、田んぼの近くでおにぎりやめった汁を味わい、交流を深めた。8月には、子どもらが植えた場所で稲刈りをする予定。（鬼頭穂高）